

教育委員会が進める新たな取組み

前回総合教育会議にて市長からは読み・書き・計算といった基礎学力を小中学校の間に身に着けることが重要との意見があった。タブレットやICT機器の活用等、ともすれば新しい技術ばかりに目が行きがちとなるが、読み・書き・計算という基礎的な部分をおろそかにすることなく、そのうえで、子育て世代が魅力とを感じるような、交野の教育の特徴的な取組みを進め、子どもたちに様々な体験の機会を提供する。

☆子どもたちへ様々な体験機会の提供

- 【子どもたちの可能性を伸ばす キャンパス体験】
摂南大学の理科セミナー、キャンパスツアーに加え、新たに阪大を舞台に体験授業やスーパーコンピューター見学、学食体験など「OneDay 阪大生」を実施。
- 【星の里・プラネタリウムカムバック】
天井投影用プロジェクターによる360°投影。指定管理者事業。
- 【学校に最先端がやって来た】
メタバースによる海外交流や、VR体験、桃太郎電鉄(教育版)等の導入を検討。マイクラフトを活用し交野のまちや私部城を3D化し、メタバース交野シティを構築する。支援教育や学校に来づらい子どもへの支援等への活用も見込まれる。まずはモデル校で実施。

☆地域や外部団体とつながる活動

- 【地域の歴史文化にふれ、未来の交野を紡ぐ】
4つの学園それぞれに、地域の歴史文化の再認識と学校での活用。
例：家康公大坂夏の陣、私部城等各地の歴史文化にまつわる、地域おこし事業。デジタル版郷土資料の提供。
- 【交野のブランド食材で、交野の給食魅力アップ】
デラウェアゼリー、交野ルビーのコロッケ、酒粕利用メニュー
交野ジェラート 交野の給食55周年記念日1月25日
- 【読書活動の充実】

摂南大学現代社会学部との連携し、学生の柔軟な発想や行動力を得ながらイベント等を企画・立案。また、交野市ロータリークラブから本の返却ポストの寄贈を受け商業施設に設置予定。

☆教育施設の新たな活用

- 【星の里いわふね】
森の音楽ミニホール化（天体研修センター等）、
ハイカーへのアピール（手ぶら BBQ、キッチンカー、テントサウナ）
- 【いきいきランド】
プールへのバス送迎、メインアリーナ音響改善
- 【総合型地域スポーツクラブパイロット事業】
大阪経済大学と連携し、夏休み学習&水泳教室のモデル実施

☆その他

- 【学校ごとの特色を創出】
特色ある部活動（マインクラフト部、弁論部、ボランティア部等）
学校の裁量で自校独自の特色ある取組みに使える予算の確保
- 【学校に行きづらい児童生徒の支援】
グレープ 植物育成体験、理科特別体験授業
メタバース仮想空間 新たな居場所、交流の場の提供
- 【グローバル人材育を育成する取組み】
漢検、英検等の公費による受検機会の提供
- 【クラブチームとの交流】
パナソニックパンサーズとの小学生・中学生生との交流
（7月2日実施済み）